

白バラよこはま

No.45

平成27年1月発行

編集・発行

横浜市明るい選挙推進協議会
 横浜市中区港町 1-1 ☎045 (671) 3335

▶【青葉区】「青葉区民まつり2014」にて



▶【瀬谷区】「推進員研修会」にて



▶【港北区】「ふるさと港北ふれあいまつり」にて

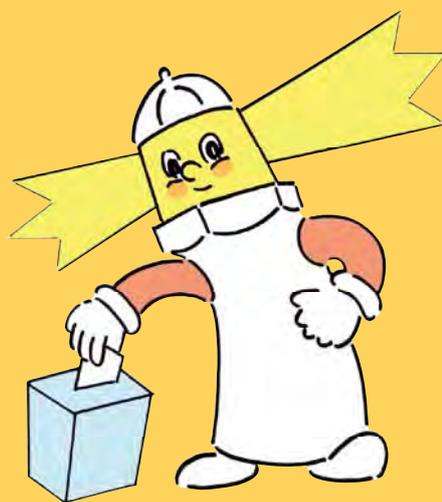


▶【西区】「ミくらフェスタ」で「イコット」がさくらパレードに参加

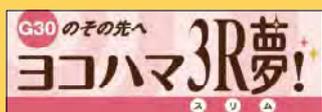


目次

推進委員・推進員の心得	2
各区今年度の事業	3~20
第15回投票参加状況調査結果(抜粋)	21
横浜市今年度の事業	22~23
リーダー研修会	24
横浜市・区明るい選挙推進大会(平成25年度)	25
衆議院議員総選挙の区別投票率	26
各選挙における投票率	27
選管ホームページ等の紹介	28



横浜市の
選挙のマスコット
イコットちゃん



明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意・お願い～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意見を確かに政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員の皆様が活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するために始まった一つの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり、逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とははっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

Q：某候補は、明るい選挙推進運動の趣旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

次の活動についても、積極的に実施していただくようお願いします。

- 投票立会人や開票事務への従事
- 自治会・町内会における投票制度に関する広報、アドバイス

これらの活動には、「明るい選挙推進のためのハンドブック」を御活用ください。



鶴見区

鶴見区明るい選挙推進協議会では、今年度も「投票率の向上」と「不正のないきれいな選挙の実現」を広く区民に呼びかけるため、様々なイベントに参加しました。

10月には、鶴見区の区民祭りの一つである「つるみ臨海フェスティバル」で、啓発文を載せた台紙で似顔絵を作成する似顔絵ブースを出展し、多くの親子連れで大盛況となりました。その一週間後には、鶴見大学の大学祭である「紫雲祭」にも参加し、紫雲祭実行委員会と連携し、ポスターコンテストの投票・開票や、オリジナル啓発物品の配布を行いました。本物の投票器材が大変好評で、若年層に向けた啓発の場とすることができました。

さらに、本年4月に予定されている統一地方選挙に向け、5月に開催された鶴見区の区民祭りの一つである「三ツ池公園フェスティバル」では、来場者へ啓発物品を配布し、選挙の周知を図りました。ほかにも、一年を通じて様々なイベントで、統一地方選挙の投票を呼びかけています。

また今年度は、明るい選挙推進員の改選の年にあたり、6月に鶴見区明るい選挙推進大会を開催しました。大会では、委嘱式を行うとともに、明治学院大学教授の川上和久氏を講師としてお招きし、講演会を実施しました。今後の啓発活動に向けて、推進員の意識の高揚を図りました。

その他、機関紙「イコットNEWS」の発行、区内の小中学校・高校への投票器材の貸出など、様々な活動を行いました。今後も引き続き、積極的な啓発活動に取り組んでいきます。

▼ 三ツ池公園フェスティバル



▲ 鶴見大学「紫雲祭」

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年5月	推進委員総会	平成25年度の事業報告を行うとともに、平成26年度の事業計画を審議した。
5月	三ツ池公園フェスティバル	統一地方選挙のPRのため、街頭啓発を実施した。
6月	鶴見区明るい選挙推進大会	推進員の改選に合わせて、委嘱式を実施するとともに、推進員向けの講演会を開催した。講演会後には、推進員会議を開催し、地区代表者の決定を行った。
8月	鶴見川花火大会	鶴見川花火大会に協賛し、プログラムに啓発文を掲載することにより、明るい選挙推進協議会のPRを行った。
10月	つるみ臨海フェスティバル	「つるみ臨海フェスティバル」にブースを出展し、似顔絵コーナーを開催。似顔絵台紙に選挙の啓発文を掲載するとともに、会場内で啓発物品の配布を行い、明るい選挙推進協議会のPR及び統一地方選挙の参加を呼びかけた。
10月	鶴見大学「紫雲祭」	若年層に対する啓発の強化を目的として鶴見大学の大学祭である「紫雲祭」に参加。パンフレットに啓発文を掲載するとともに、紫雲祭実行委員会と連携して、投票器材を利用したポスターコンテストを実施し、啓発活動を行った。
10月	せんぎょフォーラム	選挙啓発と学習機会の提供を目的として、鶴見中学校にて出前講座を開催し、将来の有権者への動機づけを図った。
10月	乳幼児健康診査での啓発	子育て世代に対する啓発の強化を目的として、3歳児健康診査の会場待合室にて、啓発物品等の配布を行い、明るい選挙推進協議会のPR及び統一地方選挙の参加を呼びかけた。
11月	中学校生徒音楽会	区内の中学生が参加する音楽会の会場にて、明るい選挙推進協議会のPRを行うとともに、選挙啓発文を掲載したプログラムを配布し、将来の有権者への動機づけを図った。

開催月	事業名	事業内容
随時	イコットNEWS発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙結果の報告を中心に掲載、発行する。
	投票器材の貸出	区内の小・中学校、高校に投票器材を貸出し、将来の有権者への動機づけを図る。

▼ つるみ臨海フェスティバル



▼ つるみ臨海フェスティバル



▼ 鶴見区明るい選挙推進大会



神奈川県

本年度も神奈川県明るい選挙推進協議会では、区民啓発事業と若年層啓発事業を柱に活動を行っています。

区民啓発事業として、5月に「かながわ湊フェスタ」、6月に「横浜FCかながわ区民DAY」、8月に「横浜FCエコパートナーDAY」へ参加し、「イコットちゃん」の着ぐるみや啓発物品の配布により投票参加のPRを行いました。

更に、10月には「神奈川県民まつり」へ参加し、来場者へ似顔絵の贈呈、パネルの展示、啓発物品の配布等を行い、明るい選挙の推進を呼びかけました。

一方、若年層啓発事業では、11月2日に「神大フェスタ（神奈川県立大学学園祭）」に参加し、似顔絵の贈呈や啓発DVDの放映等を行いました。

また、将来の有権者に対する啓発として11月2日に神奈川県立中学校で「職業体験授業」として模擬投票開票を体験してもらい、選挙の大切さを呼び掛けるとともに、11月21日には錦台中学校の生徒会選挙に参加し、本番さながらの選挙を体験してもらいました。

このほか、1月には区内小学校3校で最後の給食に出されるデザート題材にしたデザート選挙を実施する予定です。

今後は、10～11月に地域から推薦いただいた明るい選挙推進員の皆様とともに、統一地方選挙の投票参加の呼びかけをはじめ、明るい選挙の推進に取り組んでいきます。



▲ 横浜FCエコパートナーデーへの参加

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年5月	かながわ湊フェスタへの参加	輪投げゲーム、啓発物品の配布、横浜市マスコットキャラクターの模擬投票、「イコットちゃん」の着ぐるみを用いて選挙のPR及び記念撮影を行いました。
6月	横浜FCかながわ区民DAYへの参加	「イコットちゃん」の着ぐるみを用いて選挙のPRを行いました。
8月	横浜FCエコパートナーDAYへの参加	ハーフタイムショーなどの機会を通じて選挙のPRを行いました。
	イコット通信の発行	協議会の活動や選挙制度についてのお知らせを発行し、区民利用施設等において配架しました
10月	神奈川県民まつりに参加	参加者へ似顔絵の贈呈、パネルの展示、啓発物品の配布を行いました。
11月	神奈川県立大学の学園祭に参加	啓発物品の配布、啓発DVDの放映、「イコットちゃん」の着ぐるみを用いて選挙のPR及び記念撮影を行いました。
	神奈川県立中学校主催「職業体験授業」に参加	模擬投票・開票の体験授業を行いました。
	錦台中学校でせんきょフォーラムを開催	生徒会役員選挙を題材とし、各候補者が演説を行うことや、実際の選挙で使用している器材を用いて投票・開票を本番さながらに行いました。
6～12月	投票器材の貸出し	区内小中高等学校へ選挙器材の貸出を行っています。あわせて、「学級委員選挙の手引き」や「生徒会役員選挙の手引き」を送付しました。
平成27年1～3月	中丸小学校、青木小学校でせんきょフォーラムを開催予定	6年生の最後の給食に出されるデザート題材に各候補者が演説を行うことや、実際の選挙で使用している器材を用いて投票・開票を本番さながらに行う予定です。

開催月	事業名	事業内容
2月	神奈川県イコット通信の発行	協議会の活動等に関するお知らせを発行する予定です。

▼ 区民まつりでのブース出展



▼ 神奈川県立中学校での職業体験授業



西 区

西区では、明るくきれいな選挙の実現と、より一層の投票参加を推進するために、特に若年層をターゲットとし、各種啓発事業を行っています。

今年度は新たな事業として、7月に開催された横浜平沼高校の文化祭「平沼祭」にブース出展しました。クイズの実施や啓発物品の配布を行い、校内外から500人以上の参加がありました。あと3～5年で選挙権を持つことになる高校生に向けて選挙の大切さを伝えることができました。

また、11月の区民まつりでは、西区明るい選挙推進協議会として野毛山動物園と共同でブース出展し、野毛山動物園の動物人気投票を行いました。将来の有権者である子どもたちに実際の投票箱、記載台を使用した模擬投票を通じて将来の投票を呼びかけました。681人に投票してもらい、身近な動物から選挙を知ってもらう有意義な催しとなりました。

3月には『せんきょフォーラム』を市立岩井原中学校で実施する予定です。中学生に、模擬投票を通じて楽しみながら選挙の関心を高める取組を行います。

このほか、推進員向けには、11月に西区明るい選挙推進大会兼推進員研修を開催しました。帝京大学経済学部地域経済学科教授の黒崎誠氏を講師に招き、「どうなる?日本の経済」をテーマに講演会を行いました。選挙が決定した直後の講演ということもあり、経済の話題に政治を交えて、分かりやすく伝えてもらったことで、推進員の政治・選挙に対する意識が向上しました。



▲ さくらフェスタでイコット Jr. がさくらパレードに参加

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成 26 年 4 月	みなとみらい21さくらフェスタ 2014	選挙マスコットであるイコット Jr. が、さくらパレードに参加し、選挙の PR を行った。
5 月	定例会	前年度の事業実績、決算の報告、及び当該年度の事業計画案、予算案の審議を行った。
7 月	高校文化祭	横浜平沼高校の文化祭「平沼祭」にブース出展し、クイズの実施や啓発物品の配布を行った。
11 月	西区民まつり	野毛山動物園の動物人気投票を行い、将来の有権者を含めた区民に対して、模擬投票を通じ、選挙への関心を高めた。
11 月	西区明るい選挙推進大会兼推進員研修	推進委員、推進員の意識高揚並びに連携を深めることを目的に開催した。また、講演を行い、政治・選挙への意識の向上を図った。 場 所：西区役所
平成 27 年 3 月	せんきょフォーラム	模擬選挙を通じて、選挙の意義を認識し、投票に対する意識を高めてもらうことをねらいとして開催する。 場 所：市立岩井原中学校
年間	啓発物品の作成・配布	啓発物品を作成し、区民まつり等で配布している。
	学校での生徒会選挙等での実践啓発	中学校生徒会選挙に際して、投票器材を貸し出している。
平成 26 年 10 月 平成 27 年 3 月	明推協だよりの発行	推進委員、推進員の機関紙を発行している。 年 2 回



▲ 区民まつりで野毛山動物園の動物選挙を実施



▶ 動物選挙の候補者ポスター(例)

中 区

中区明るい選挙推進協議会では、今年度も様々な常時啓発事業を実施し、投票率の向上を目指しました。

春から秋にかけては「tvk 秋じゃないけど収穫祭」や中区民祭り「ハローよこはま」といった大規模なイベントに参加することで幅広い世代の方に選挙に触れてもらうことが出来ました。

また、小中学生に選挙の大切さを知ってもらうために行っている「中区明るい選挙推進作文コンクール」を今年も実施しました。このコンクールは、今回で34回目を迎えますが、962作品の応募がありました。応募作品の中から厳正な審査の上で入賞作品を決定し、12月には入賞者を招いて中区役所で表彰式を行いました。

この他にも小中学校への投票器材の貸出しや高校文化祭への参加など、将来の有権者である若年層への働きかけを重視した啓発事業を実施しています。

▼ tvk 秋じゃないけど収穫祭



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年5月	tvk 秋じゃないけど収穫祭	日本大通りで開催された「tvk 秋じゃないけど収穫祭」で模擬投票を行い、1,042人の方に投票していただきました。
9月	せんぎよフォーラム	横浜市立本牧中学校の選挙管理委員会の生徒を対象に選挙についての出前授業を行いました。
9月	高校文化祭への参加	横浜市立みなと総合高等学校の文化祭に参加し、「翌年の文化祭に来るマスコット」を決める選挙で279人の方に投票していただきました。
10月	中区民祭り (ハローよこはま)	横浜公園・日本大通りで開催された中区民祭り「ハローよこはま2014」に参加し、マスコットキャラクターの人気投票を行いました。人気投票には16体のマスコットが参加し、1,596人の方に投票していただきました。
通年	中区明るい選挙推進作文コンクール	区内在住・在学の小中学生を対象に、選挙やまちづくりをテーマとした作文コンクールを実施しました。12月には入賞者を招いて中区役所で表彰式を行いました。 応募作品数：962作品
通年	明推協通信「イコトニュース」発行	推進員への情報提供と選挙啓発意識向上を目的とした機関紙を発行しています。(年3回)
年間	投票器材の貸出し	区内の企業・学校等へ実際の選挙で使用している投票器材の貸出しを行っています。

▼ みなと総合高校文化祭



▼ 中区民祭り「ハローよこはま2014」



南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

7月には、南区の夏の風物詩である「南まつり」において、選挙ブースを出展し、選挙クイズとボール投げゲームを実施し、多くの親子連れに参加していただきました。

8月には、明るい選挙映画会を開催し、若い有権者と将来の有権者に選挙啓発活動を行いました。

11月には、横浜市会及び神奈川県議会へと出向き、推進員研修会を開催しました。

さらに、南区明るい選挙推進協議会のマスコットキャラクターの「まねっきー」と啓発標語が掲載されたポケットカレンダーを作成、配布しました。また、「南区文化祭」、「ボイス・オブ・ユース(青年の主張)」や、南区の春の一大イベントである「桜まつり」にも協賛し、パンフレットやポスターなどに啓発標語などを掲載し、小学生から有権者の方まで幅広く呼びかけを行っています。

12月に実施したせんきょフォーラムでは、高校生を対象に啓発講演会を行いました。

また、年間を通じて、中学校の生徒会選挙が実施される際に、選挙器材の貸し出しを行いました。

▼ 明るい選挙映画会の様子



● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成 26 年 6月、9月、 2月	明推協だより	明推協の事業内容や活動報告を機関誌にまとめ、推進委員及び推進員に年3回発行。
7月	南まつり	選挙ブースを出展、選挙クイズを実施し、回答者に啓発物品を配布。ボール投げゲームでは、参加した子どもに啓発物品を配布。
8月	明るい選挙映画会	若年層を対象とした啓発を目的に、親子映画会を開催。アニメ映画「アナと雪の女王」と「選挙啓発アニメ」を上映。
11月	推進員研修会	横浜市会及び神奈川県議会への施設見学会。
11月	“まねっきー”クリーン選挙PR事業	当協議会のマスコット“まねっきー”と啓発標語の入ったポケットカレンダーを作成し、広く区民にきれいな選挙と積極的な投票参加を呼びかけている。
10月、11月	区文化祭、ボイス・オブ・ユース	南区恒例の文化行事に協賛し、配布物に啓発標語などを掲載。
12月	せんきょフォーラム	高校生を対象として、神奈川県立横浜清陵高等学校にて講演会を実施。 講師：早稲田大学 森川友義教授、 囲碁将棋(芸人) テーマ：「選挙に行かないと、こんなに損する!?!」
平成 27 年 3月	桜まつり	南区の春の風物的行事「桜まつり」の会場である大岡川沿いの桜並木に、選挙啓発標語入りの「ぼんぼり」を掲げる予定。
年間	選挙器材貸出	未来の有権者の選挙への関心を高めるため、生徒会選挙等へ選挙器材を貸し出している。

▼ 南まつりの様子



▼ 推進員研修会の様子



港 南 区

▼ 永谷高校文化祭



港南区では、将来の有権者となる若い世代とその親世代を重点的な対象として、さまざまな啓発活動を行っています。

8月に実施した明るい選挙映画上映会では、大ヒットとなった「アナと雪の女王」を上映しました。小学生とその親・祖父母の世代を中心に、午前・午後合わせて857名の方にご来場いただき、親子で楽しみながら選挙クイズに挑戦する姿や、友達同士でクイズの回答を確認し合う様子が見られました。

秋には高校の文化祭へ出展し、賑やかな文化祭の中でも、真剣に啓発パネルを読む高校生の姿を見ることができ、アンケートでも8割を超える高校生が20歳になったら選挙に行くかと回答しました。また、こうなん子どもゆめワールドは、生憎の雨の中での出店となりましたが、景品を目当てに真剣に選挙クイズに取り組む子どもたちで大賑わいとなりました。

明るい選挙啓発講演会では、落語家の桂歌助さんをお招きし、選挙の啓発と共にさわやかな落語を披露していただきました。当日は、衆議院選挙の期日前投票期間だったため、投票の呼び掛けにより、来場した方皆様に衆議院選挙をお知らせすることができました。

せんきょフォーラムでは、小学校に出向いて模擬投票「デザート選挙」を実施しました。今後も2月まで区内小学校で実施していきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年8月	明るい選挙映画上映会	「アナと雪の女王」を上映し、多くの親子連れで賑わった。人権啓発パネルを展示し、選挙器材を用いて選挙クイズを実施した。
9月～11月	区内高校文化祭	区内4校の高校の文化祭で選挙啓発ブースを出展し、選挙クイズや、啓発物品の配布を行った。
11月	こうなん子どもゆめワールド	選挙クイズを実施し、景品や啓発物品を配布した。
12月	明るい選挙推進大会・啓発講演会	桂歌助氏を招き、衆院選・統一地方選の投票の呼び掛けも交えて、落語を披露していただいた。
平成26年12月～平成27年2月	せんきょフォーラム	区内10校で小学校6年生を対象に小学校生活最後の給食のデザートを決める模擬投票を実施する。
通年	生徒会選挙への選挙器材貸出	区内の中学校・高校での生徒会選挙のために選挙器材を貸し出した。
年3回	明推協だよりの発行	推進委員・推進員への情報提供を目的として機関誌を発行する。

▼ こうなん子どもゆめワールド



▲ 横浜明朋高校文化祭

保土ヶ谷区

こんにちは！保土ヶ谷区の明るい選挙推進協議会では、『不正のない明るい選挙の実現』と『投票参加の向上』を目指し、啓発活動を行っております。

今年度の常時啓発事業は、5月に区内で行われた「ほ도가や花フェスタ」で幕を開け、花飾りでおめかししたイコット Jr. が選挙クイズ付ポケットティッシュを配布しました。

10月のほ도가や区民まつりではアンケートコーナーを設け、投票参加の向上に関するアンケートを行い、アンケート用紙は投票箱に投函してもらいました。

10月から11月にかけては、区内の商店街のイベントで啓発物品を配布しました。

11月には「ほ도가やバンドバトル」を保土ヶ谷公会堂で、青少年指導員協議会と共催しました。区内中学校、高校からバンドを募り、本物の投票箱や記載台を使って順位を決める模擬投票を行いました。

平成27年1月には「デザート選挙で小学校生活最後の給食に思い出を！」をテーマに、区内の小学校の6年生を対象に面白くわかりやすい形で選挙を体験してもらいます。

▼ ほ도가や区民まつり



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年5月	ほ도가や花フェスタ来場者への選挙啓発	ほ도가や花フェスタの来場者に選挙クイズ付ポケットティッシュを配布しました。また、イコット Jr. の着ぐるみにより、統一地方選挙への投票参加を呼びかけました。
	横浜FC保土ヶ谷区民DAY来場者への選挙啓発	横浜FC保土ヶ谷区民DAYの来場者に選挙クイズ付ポケットティッシュを配布しました。また、イコット Jr. の着ぐるみにより、統一地方選挙への投票参加を呼びかけました。
10月	ほ도가や区民まつり	県立保土ヶ谷公園で行われたほ도가や区民まつりにブース出店しました。選挙に関するアンケートを実施し、本物の投票箱に投函してもらいました。回答者には、景品付きサイコロゲームを楽しんでいただきました。
10～11月	区内の商店街のイベントにおける選挙啓発	区内の商店街のイベントで啓発物品を配布し、統一地方選挙への投票参加を呼びかけました(★印)。また、商店街にご協力いただき、イベントの際に啓発物品を配布していただきました。 【実施日・実施場所】 10月12日：保土ヶ谷駅西口商店街 10月25日：洪福寺松原商店街(★) 10月26日：千丸台連合商店会 11月1日：笹山商店会(★) 11月15日：和田町商店街
11月	ほ도가やバンドバトル	青少年指導員協議会と共催し、区内の中学生、高校生によるバンドで演奏を競いました。また、当日はイコット Jr. の着ぐるみが登場したり、演奏の合間に選挙クイズを行いました。優勝者を決める際は実際の投票箱、記載台を使うなどし、投票・開票を実体験してもらいました。

開催月	事業名	事業内容
平成27年1月	デザート選挙	小学6年生を対象にいくつかのデザートの候補から、自分が食べたいものを投票してもらい、1番票が多かったものを、小学校最後の給食のデザートとして出します。投票には実際の投票箱・投票用紙を使います。
通年	選挙器材の貸し出し	区内中学校等に選挙器材の貸し出しを行い、選挙に親しみをもってもらいます。
年3回	明推協だより	推進委員・推進員向けの機関紙を発行します。

▼ ほ도가やバンドバトル



旭 区

旭区明るい選挙推進協議会では、今年度も「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発事業を実施しています。

今年度も、毎年恒例となっている竹製うちわを作製し、8月に旭区内で開催された「道の日キャンペーン」で配布したほか、推進員を通して旭区内各地域の夏祭りやイベント会場で啓発活動に役立てました。

10月には、「旭ふれあい区民まつり」に参加し、選挙啓発コーナーを設け、明るい選挙推進協議会をPRすると共に、キャラクター人気投票を行いました。

また、同月に「旭区明るい選挙推進研修会」として、横浜市会議事堂及び、横浜地方裁判所を見学し、推進員の意識向上を図りました。

1月には、二校の小学校で「旭せんきょフォーラム」を実施し、未来の有権者である小学生を対象とした模擬投票・開票を行います。

また、同月には就学前のお子様を対象にした「ゆかいなコンサート」を開催し、子育て世代へ統一地方選挙へ向けての投票の呼びかけを行います。

この他にも、中学校の生徒会選挙時に投票機材や選挙運動物品の貸出事業を行っております。

今後も「企画検討委員会」を中心に啓発事業について企画・検討し、明るくきれいな選挙の実現を目指して活動していきます。

▼ 道の日キャンペーンでの啓発の様子



▲ 啓発うちわ

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年6月	旭区明るい選挙推進協議会定例会議	平成25年度の事業報告・決算報告及び平成26年度の事業計画・予算案について審議を行った。 ・日時 平成26年6月5日(木) ・場所 旭区役所3号会議室
7月～	竹製うちわ作製・配布	明るい選挙マスコットキャラクターを掲載した竹製うちわを作製。道の日キャンペーンや、各自治会・町内会等にも配布し、明るい選挙を呼びかけた。
8月	道の日キャンペーン	旭土木事務所主催のキャンペーンに推進員が中心となって参加し、竹製うちわやオリジナルボールペン等を配布しながら啓発活動を行った。 ・日時 平成26年8月8日(金) ・場所 相鉄線二俣川駅前第二歩道橋
10月	旭ふれあい区民まつり	区民まつりにブースを設け、キャラクターの人気投票を実施し、明るい選挙を呼びかけた。 ・日時 平成26年10月19日(日) ・場所 旭区役所第一駐車場
	旭区明るい選挙推進研修会	研修会を開催し、市会本会議の見学や裁判員制度について学び、推進員の意識向上を図った。 ・日時 平成26年10月21日(火) ・場所 横浜市会議事堂・横浜地方裁判所
平成27年1月	ゆかいなコンサート	就学前のお子様を対象にしたコンサートを開き、子育て世代へ統一地方選挙の投票の呼びかけを行う予定。 ・日時 平成27年1月25日(日) ・場所 旭公会堂

選挙名	事業名	事業内容
年間	旭せんきょフォーラム	未来の有権者である小学生を対象に、身近な話題をテーマにした模擬投票・開票を行い、選挙に対する理解・関心を深める。 今年度は2校実施予定。
	企画検討委員会(年3回)	明推協事業の実施について、運営方法や新たな啓発活動について企画・検討し、各種イベントにおいては中心となって運営を行う。
	生徒会選挙物品及び投票器材の貸出	区内の中学校の生徒会選挙時に、選挙運動用のぼり旗・たすき・腕章等の選挙物品及び投票箱・記載台の貸出を行った。
	イコット通信の発行(年4回予定)	推進委員・推進員への情報提供・交流の場を目的とした機関紙「あさひイコット通信」を発行。

▼ 旭ふれあい区民まつり



磯子区

磯子区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票率の向上をめざし、各種啓発事業を実施しています。

8月21日(木)には、磯子公会堂で「明るい選挙講演会・映画会」を実施。講演会は、作家・明治学院大教授の高橋源一郎氏を迎え、「僕らの民主主義～自分でつくる民主主義」をテーマに講演していただきました。映画会は、昨年大ヒットしたアニメ映画『アナと雪の女王』を上映。推進員・一般区民合わせ約540人が来場しました。

9月28日(日)には「磯子まつり」の一環として、区役所1階ホールに選挙ブースを出展し、選挙に関するクイズを出題。正解者にはくじ引きにより、特賞の似顔絵やLEDライトなどの景品を差し上げました。同時にパネル展示も行い、約580人に参加していただきました。

12月8日(月)には、洋光台第二中学校でせんきょフォーラムを開催。将来の有権者である中学生全校生徒を対象に、講義をおこないました。

年間を通して、区内の小学校、中学校の生徒会選挙時に投票箱や記載台、たすきなどの物品を貸し出し、実際の選挙の雰囲気を体験してもらいました。また、明推協だよりを7月、9月に発行しています。

▼ 選挙クイズのコーナーを磯子まつりに出展



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年 8月	磯子区明るい選挙 推進講演会・映画会	推進員・一般の方を対象とした講演会・映画会を開催。 場所：磯子公会堂 講師：作家・明治学院大教授 高橋源一郎氏 映画：アナと雪の女王
9月	磯子まつり クイズ で似顔絵	選挙に関するクイズを出し、正解者にくじを引いてもらい、その結果で選挙啓発物品を配布（特賞は似顔絵色紙）
12月	選挙フォーラム	将来の有権者である中学生を対象に開催（洋光台第二中学校）
通年	生徒会選挙支援	実際の選挙の雰囲気を体験してもらうため、区内の小・中学校の生徒会選挙時に投票箱や記載台の貸出。
通年	明推協だより発行	7月、9月に発行（年3回発行予定）

▼ 明るい選挙講演会 - 高橋源一郎氏
「僕らの民主主義～自分でつくる民主主義」



金 沢 区

金沢区明るい選挙推進協議会では、「若い世代に選挙について関心を持っていただくために…」をメインテーマに様々な啓発事業を企画・実施しています。

まず、10月4日には幼児から小学生の子供をもつ親子を対象にした「親子映画会」を開催し、実際の選挙に使用する記載台や投票箱を用いてアンケートを実施し、選挙を身近に感じていただきました。

10月18日には「区民まつり（いきいきフェスタ）」に出展し、多くの参加者の皆様選挙クイズやミニゲームを通して楽しく選挙について学んでいただきました。また10月下旬には「横浜市立大学」「関東学院大学」の学園祭に出展し、パネル展示や選挙クイズ、ミニゲームを通して若い世代に向けて積極的な啓発を行いました。

この他にも、各学校への「選挙器材の貸出し」、区民へ向けた「選挙クイズ」、横浜市立並木中学校において「せんきょフォーラム」を開催して、さらなる若年層の政治・選挙に対する意識向上を図っています。

▼ 区民まつり「いきいきフェスタ」ブース出展



▲ 横浜市立大学学園祭ブース出展

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年5月	企画検討会	事業活性化と推進員の運営参画の場として開催し、事務局と協議会推進員との間で平成25年度事業の振り返り、平成26年度事業の企画立案の検討を行いました。
6月	定例会	平成25年度事業結果及び決算の報告、平成26年度事業計画及び予算案について審議を行いました。
10月	明るい選挙親子映画会	若年有権者の選挙意識向上を図るため、「くもりときどきミートボール」を上映し、同時に啓発ビデオの上映、啓発物品及びチラシの配布を行いました。 場所：金沢公会堂
	明るい選挙クイズ	区民の選挙に対する関心を高めるため、「広報よこはま」金沢区版に選挙に関するクイズを掲載し、正解者に抽選で記念品を贈呈しました。
	区民まつり（いきいきフェスタ）出展	区民の選挙意識向上を図るため、啓発物品の配布や選挙クイズを行いました。
	せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催しました。 場所：横浜市立並木中学校 講師：三遊亭 多歌介（落語家）
	関東学院大学学園祭パネル展示	大学生に明推協活動を周知し、投票参加を呼びかけるため、パネル展示と啓発物品の配布を行いました。
	横浜市立大学学園祭ブース出展	大学生に選挙の重要性や投票参加を呼び掛けるため、選挙クイズ、ゲーム、パネル展示及び啓発物品の配布を行いました。
平成27年1月	明るい選挙推進研修会	当協議会推進員の政治意識向上のため、横浜市立大学の学生にも参加していただき講演会及び討論会を開催します。 場所：金沢区役所 1階4号会議室 講師：横浜市立大学教授 和田 淳一郎

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
年間	明推協にゆうす発行	事業に関する情報提供や意識向上のため推進委員・推進員に機関紙を発行します。 (年4回：6月、8月、1月、3月) ・事業計画及び結果報告 ・各種事業案内 ・選挙結果報告 等
	選挙器材貸出し	学生の選挙への関心を高めるため、区内学校で行われる生徒会役員選挙等実際の選挙器材を貸出します。
	横浜ベイサイドマリナーへの啓発物品設置	青年有権者層が集まる横浜ベイサイドマリナーに選挙参加を呼び掛けるため、啓発物品（選挙マスコット「いこあら」入りウェットティッシュと「いこあら」携帯ストラップを設置します。

▶ 明るい選挙親子映画会



港 北 区

港北区明るい選挙推進協議会では、区民の方々のより一層の選挙・政治意識の向上が図られるよう様々な事業を行っています。

5、6月には、「地区ブロック別研修」にて、政治・選挙や各地域における啓発活動等について自由闊達な意見交換を行いました。

10月には、「港北ふれあいまつり」においてブース出店（わなげ）を行いました。例年同様、来客者数は大変多く、親子連れに向けて啓発活動を実施しました。併せて、選挙に関するアンケート用紙を渡し、回答してもらうことにより選挙への関心を高めていきました。

また、同じく10月に慶應義塾大学にて行われた「KEIO フットサルアドベンチャー」、11月には慶應義塾大学と地域が協力して行うイベント「日吉フェスタ」に参加しました。来場者に選挙に対する自身の思いを書いたボードを持って撮影をするという内容で、家族連れの方や多くの学生がブースを訪れ、大変好評でした。

また、1月にはせんきょフォーラム、2月には推進大会及び記念講演会を実施していく予定です。

今後も協議会の推進委員、推進員の皆様との連携を図り、推進活動のより良いあり方を考え事業を推進していきます

▼ KEIO フットサルアドベンチャーにて、めいすいくんと記念撮影



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成 26 年 4 月	港北区明るい選挙推進協議会	平成 25 年度の事業報告及び平成 26 年度の事業計画の審議を行いました。
5 月、6 月	地区ブロック別研修	政治・選挙や各地域における啓発活動等について自由闊達な意見交換を行い、一人一人が推進員としての自覚を高め、今後の啓発活動について検討しました。今年度実施地区：菊名、師岡、大倉山、新羽、新吉田、新吉田あすなる、高田
10 月	港北ふれあいまつり	選挙のクイズに回答することで参加できる、わなげのブースを出店しました。クイズでは、統一地方選挙に関する知識を掲載し、来場者に選挙啓発を行いました。 場所：新横浜駅前公園 来場者：約 650 名
	KEIO フットサルアドベンチャー	慶應義塾大学日吉キャンパスで行われるイベントにパネルブースを出展し、たくさんの方に選挙を身近に感じていただきました。 また、来場者の方に、選挙に関する思いを記したボードを持っていただいて撮影し、それを基にオリジナル啓発ポスターを作製します。 場所：慶応大学日吉キャンパス 来場者数：100 名
11 月	日吉フェスタ	慶應義塾大学と地域が協力して行うイベントに出展し、めいすいくんと触れ合いコーナーを設け、若い世代を中心に、選挙を身近に感じていただきました。 また、来場者の方に、選挙に関する思いを記したボードを持っていただいて撮影し、プレゼントしました。 場所：慶応大学日吉キャンパス 来場者：200 人

開催月	事業名	事業内容
平成 27 年 1 月	せんきょフォーラム	区内の小学校で模擬投票形式のフォーラム事業を実施する予定です。
2 月	港北区明るい選挙推進大会及び記念講演会	推進員が一堂に会し、きれいな選挙と投票への総参加の実現を目指した推進運動を、引き続き展開していくことを確認するとともに、政治や選挙に関する記念講演会を行います。
通年	地域イベントでの啓発	区内各地域のお祭りや健民祭等で、物品を配布し、統一地方選挙の啓発及び明推協の活動をアピールしました。
5 月～2 月 年 5 回	企画検討委員会	明るい選挙推進運動事業の企画内容について、推進員の代表の方々による検討会議を行います。
9 月～12 月	投票器材貸出し事業	中学校・高等学校の生徒会選挙の際に記載台、投票箱などの器材を貸出し、選挙の雰囲気体験してもらいました。
年 3 回	港北区イコット通信	区明推協の機関紙として発行し、推進員への啓発を図るとともに、事業の紹介、報告等を行います。

▼ ふるさと港北ふれあいまつりにて



緑 区

緑区明るい選挙推進協議会では、投票率の向上と、将来世代の有権者に選挙に関心を持ってもらうことを目的として活動しています。本年度は、将来世代の有権者を対象に重点を置いた啓発活動を行いました。

9月5、6日と10月25、26日には、区内高校の文化祭において、投票から開票までを体験できるブースを出展し、啓発活動を行いました。中高生をはじめとする若年層には、選挙に興味を持ってもらうことを目的としました。一方の保護者をはじめとする中高年層には、平成27年度執行予定の統一地方選挙の呼びかけを行いました。当日は、多くの来場者が訪れ、大いに盛り上がりました。

また、10月19日(日)には、例年通り緑区民まつりに出展しました。区民まつりでは、推進員のアイデアにより、スーパーボールすくいやパネルアンケートを実施しました。こちらも多くの来場者が訪れ、盛況に終わりました。

この他にも、12月には、田奈中学校において、2年生を対象とした「せんきょフォーラム」を開催しました。講師には、ドイツ文学翻訳家の池田香代子先生をお招きし、「世界がもし100人の村だったら～選挙編～」という題目で、ご講演いただきました。

今後とも、若年層を対象とした啓発活動に重点を置き、活動してまいります。

▼ 天候に恵まれた区民まつり



● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年6月	定例会議	前年度の事業報告、決算・監査報告、今年度の事業計画、予算案等について審議しました。
9月5、6日	高校文化祭への出展(霧が丘高校)	パネル展示と開票体験ゲームを行い、若年層を中心とする来場者に対して選挙啓発を行いました。
10月19日	区民まつり	シールアンケートやスーパーボールすくいを出展し、来場者に対して選挙啓発を行いました。
10月25、26日	高校文化祭への出展(白山高校)	パネル展示、模擬投票(学生時代の思い出は?)、開票体験ゲームを行い、若年層を中心とする来場者に対して選挙啓発を行いました。
12月5日	せんきょフォーラム(田奈中学校)	池田香代子先生をお招きし、ご講演いただきました。

▼ 白山高校文化祭出展の様子



青葉区

青葉区明るい選挙推進協議会は、「明るくきれいな選挙の実現」と「投票参加意識の向上」を目的に、今年度も様々な啓発活動を行っています。

本年度は推進員の改選期であり、区内各自治会より推薦を受けた推進委員14名、推進員102名のメンバーがこれから3年間の明推協活動のスタートを切るべく、委嘱状の交付を受けました。併せて事務局、推進員有志で構成される企画運営チームから、明推協活動内容や実績報告を行い、今後の活動指針の共有を図りました。

毎年11月3日に開催される青葉区民まつりにおいても、来場者への啓発活動として、企画運営チーム発案の取組を実施しています。本年度も、フランクフルト販売ブースを設け、購入者に年齢に応じた選挙クイズを出題（クイズに正解すると一本おまけ！）したほか、有効な啓発活動に関するアンケートの実施、横浜市立市ヶ尾中学校生徒の協力による青葉区選挙マスコットの「えら坊」等の着ぐるみを着た投票参加呼びかけ等、様々な啓発活動を行いました。

また今年度は青葉区制20周年であり、区内で様々なイベントが開催されており、当協議会では青葉区民マラソン大会に協賛し、参加者へ向けた選挙啓発グッズの作成・配付を実施しました。

今後の活動については、小学生への選挙啓発活動として、6年生最後の給食で出すデザートを決めるデザート選挙、明推協の活動を掲載したイコット通信の発行など、引き続き投票参加につながる啓発活動を実施していく予定です。

▼ 「青葉区民まつり 2014」 選挙啓発の様子



▲ 「ザ・イコット」 街頭啓発活動の様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
通年	企画運営チーム会議	明推協の活動実施に際して、推進員有志で構成されたチームが主体となり、効果的な啓発方法・選挙啓発物品等の検討を行う。
	投票器材の貸出	選挙についての理解を深め、親しみを育てよう、区内の小・中・高校等に投票箱、記載台などを貸し出す。
	メディアへのPR（イベントへの協賛等含む）	啓発事業を実施する際に、メディアへの情報提供を積極的に行い、取り上げてもらうことで効果的な周知に努める。
年2回 (9月・2月 (予定))	イコット通信の発行	明推協の各種事業紹介や、報告などを掲載した機関紙を発行し、自治会町内会の回覧板等により広く明推協の活動を周知する。
平成26年 6月11日	青葉区明るい選挙推進協議会定例会議	前年度の明推協活動内容についての事業報告、会計決算報告を行うとともに今年度の事業計画、会計予算案についての議決を行う。
7月3日	青葉区明るい選挙推進協議会推進委員・推進員委嘱式	区内各自治会より推薦を受けた推進委員・推進員に、明推協委嘱状の交付をするとともに活動内容や実績報告を行い、今後の活動指針の共有を図る。
11月3日	青葉区民まつり	明推協でフランクフルト販売ブースを出店し、購入者に選挙クイズを出題するほか、来場者へのアンケート等を実施する。来場者へ向けた選挙啓発物品作成、配布計画を実施する。

開催月	事業名	事業内容
12月17日	青葉区明るい選挙推進協議会推進委員・推進員研修会	大学の先生を招聘し選挙・投票率に関する講演会を開催し、明推協活動の理解・興味を深め、今後の活動に活かす。 場所：青葉公会堂2階会議室 講師：中谷 美穂 (明治学院大学法学部 准教授) 内容：「若年層への選挙啓発と明推協活動の意義」
平成27年 1月	せんきょフォーラム	選挙啓発出前授業として、区内小学校3校でデザート選挙を実施する。

▼ 「研修会」中谷先生による講演会



都 筑 区

都筑区明るい選挙推進協議会では、6月に明るい選挙推進大会を開催し、平成25・26年度の推進員332名で「明推協の役割」についての学習、「明るい選挙推進のためのハンドブック」の内容の確認、及び大会決議文の採択等を行い、積極的な啓発活動をしていくことを確認しました。また、研修として講演会を開催し、講師に横浜市選挙管理委員会事務局 選挙部選挙課長 小磯行生氏をお招きし、「明るい選挙推進協議会に期待する役割」をテーマに今後の明るい選挙推進協議会に期待される役割について伝えていただきました。

11月の都筑区民まつりでブースを出店し、選挙パネルクイズ、イコット着ぐるみによる啓発を行いました。明推協委員及び推進員が積極的に啓発活動に協力し、パネルクイズでは昨年を大きく上回る653人もの参加がありました。

前年度に引き続きせんきょフォーラムでは、若年層向けの選挙啓発の取組として、区内の小学6年生を対象に選挙に関する授業と模擬選挙（投開票）を行っています。教科書だけではわかりにくい選挙の仕組みについて、実際の選挙器材を使って分かりやすい授業を行っています。また今年度から区内の中学生を対象に生徒会役員選挙に合わせて、日本の選挙のあゆみや特徴をわかりやすく伝える出前授業を行いました。

都筑区の特徴である15の各地区協議会においては、夏祭りや運動会等のイベント時の啓発や、また選挙啓発のポスターコンクールの開催等、各地区独自のアイデアによって選挙啓発に取り組んでいます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年 5月	都筑区明るい選挙推進協議会会議	前年度の事業内容を振り返り、平成26年度事業計画について協議を行う。
6月	都筑区明るい選挙推進大会	講演会と明るい選挙の実現及び投票参加の推進の活動方針を確認する。
8月	明推協PR事業	「星空のコンサート」に協賛し、ポスターへの記載及び当日の選挙啓発の実施。
11月、3月	明推協だより（つづき区版）の発行	明推協の機関紙として、推進委員・推進員に活動内容等を報告。
9月	せんきょフォーラム	中学校で生徒会役員選挙に合わせて出前授業を行い中学生に選挙について理解を深めてもらう。
11月	都筑区民まつり参加	都筑区民まつり等において明推協のブースを設け、選挙啓発及び明推協のPR。
平成27年 1月～2月	せんきょフォーラム	小学校で出前選挙を行い、投票から開票までを小学生が行い選挙について関心をもってもらう。
年間	地区協議会企画事業	地区協議会ごとに啓発・研修事業を展開するとともに、メモ帳等の啓発物品を各地区において配布し常時啓発を行う。
年間	未来の有権者育成事業	生徒の選挙についての理解を深めるため、区内小、中及び高等学校の生徒会役員選挙に投票器材等の貸出しを行う。

▼ 明るい選挙推進大会の講演の様子



▼ 地区啓発活動の様子



▼ 区民まつりでの啓発の様子



戸塚区

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指し、十四人の推進委員と三十一人の推進員が、それぞれアイデアを持ちよって、月に一度のペースで会合を開き、区民まつり、映画会、講演会など、様々な啓発事業に取り組んでいます。

「戸塚ふれあい区民まつり」では、啓発グッズの配布や選挙クイズを実施し、幅広い年代への啓発に努めました。投票箱の鍵の数は？などのクイズに、参加者の方々は頭を悩ませながらも、楽しんでいました。

「イコット映画会」では、子育て世代を対象に親子で楽しめる「怪盗グルーのミニオン危機一発」を上映しました。映画の上映にあわせて、啓発グッズの配布やイコットちゃんとの撮影会のほか、「せんきょ川柳」コンテストを実施し、優秀作品を表彰しました。お子さんに配った「イコットちゃんお面」も好評でした。

1月31日には横浜市選挙管理委員会事務局の小磯選挙課長による、「明るい選挙講演会」が開催されます。「選挙の基礎知識」をテーマに、選挙を執行する側の職員ならではの話をしてもらおう予定です。

このほか、「せんきょフォーラム」では上矢部高校において落語家を招き、3年生を対象に「明るい選挙 うれしい未来」と題して、講演と落語を披露していただきました。

今後も、推進委員、推進員で力を合わせて、啓発効果の高い内容を検討し、自主的な啓発活動を実施していきます。

▼ イコット映画会



▶ せんきょフォーラム

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
通年	明るい選挙ライブラリー事業	選挙啓発に関する教育器材をそろえたライブラリーを整備し、推進員の出身団体において身近な生活の話題から政治や選挙について意見交換を行う活動に対し、ビデオや冊子等の教育器材の貸出しを行った。
	『未来の有権者』育成事業	区内中学校・高校を対象に、生徒会選挙等でより実際に近い選挙を体験してもらうため、投票箱や記載台等、器材の貸出しを行った。
平成26年11月	戸塚ふれあい区民まつり	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介と選挙クイズを行った。 ☆日時：11月3日 ☆場所：東戸塚小学校
	せんきょフォーラム事業	政治や選挙の大切さを考えてもらうため、上矢部高校の3年生を対象に、落語家による選挙啓発講演と落語を披露した。 ☆日時：11月28日 ☆場所：上矢部高校
12月	とつかイコット映画会事業	来場者に対して、啓発グッズを配布し、明推協活動の紹介とイコットちゃんとの記念撮影、「せんきょ川柳」コンテストを実施した。 ☆日時：12月7日 ☆場所：さくらプラザホール ☆作品：『怪盗グルーのミニオン危機一発』

開催月	事業名	事業内容
平成27年1月	選挙啓発講演会	明推協運動への理解、選挙の基礎知識の向上を図るため、推進委員及び推進員を対象に、講演会を実施予定。 ☆日時：1月31日 ☆場所：戸塚区役所8階大会議室 ☆講師：小磯 行生 (横浜市選挙管理委員会事務局選挙課長)
6月、9月、12月、3月	明推協通信	推進委員・推進員を対象に明推協の機関誌を発行。年4回。



▲ 戸塚ふれあい区民まつり

栄区

栄区明るい選挙推進協議会では、「きれいな選挙の実現」と、「区民の積極的な投票参加の促進」を目指して、各種事業を実施しています。

常時啓発活動としては、区内のイベントの参加に加え、今年度から街頭啓発を月1回、乳幼児健診時の啓発を月2回、明るい選挙のイメージキャラクター「めいすいくん」と行いました。

本郷台駅で行っている街頭啓発では、月によって啓発開始時間を変えることで、幅広い年齢層の方に啓発が行えるようにしました。また、配布するチラシに選挙クイズを入れるなど、手に取った方に興味を持ってもらえるような内容にしました。

乳幼児健診啓発では、「めいすいくん」のまわりが、笑顔の子供たちでいっぱいになります。栄区は、市内でも高い投票率を維持していますが、若年層の投票率が低いため、乳幼児の親世代の方向けに、より充実した啓発を行っていきたいと考えています。

今年も6月には、推進委員と推進員の意義向上と交流を図るため、「明るい選挙推進大会」を開催しました。

また、7月には「はたらくくるま大集合」、8月には「道の日イベント」に参加、11月には「栄区民まつり」で似顔絵コーナーを出展し、大盛況となりました。

今後は、施設見学会を兼ねた研修会と、将来の有権者である中学生を対象とした「せんきょフォーラム」を予定しています。



▲ 区民まつり。似顔絵コーナーにできる行列



▲ 乳幼児健診

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年6月	明るい選挙推進大会	平成26年事業計画書の説明及び講演会を実施 講演テーマ『今後の政治情勢について』 講師：石曾根 剛 氏 参加者：97人
7月	はたらくくるま大集合 明るい選挙啓発事業	「めいすいくんお面作り」や、「めいすいくん」と一緒に写真を撮ろうなど、大人と子供が一緒になって楽しめるブースを出展
8月	道の日イベントにおける啓発事業	「めいすいくん」が、栄区のマスコット「タッチーくん」とNEXCOのキャラクター「マナーティ」と一緒に打ち水を行い、打ち水に参加した小学生に対して、啓発を実施
11月	栄区民まつり 明るい選挙啓発事業	栄区民まつりに栄区明推協として参加し、来場者に似顔絵を描いてプレゼントすると同時に、選挙啓発活動を実施 場所：本郷中学校
平成27年1月	推進委員・推進員研修事業	推進委員・推進員の意識高揚と明るい選挙推進運動の前進を図るため、施設見学会を兼ねた研修会を実施
2月(予定)	せんきょフォーラム事業	将来の有権者である中学三年生を対象に政治や選挙に関する講演会を実施
通年	投票機材の貸出	区内の学校の生徒会役員等の選挙に際し、投票器材の貸出

開催月	事業名	事業内容
年3回	街頭啓発	本郷台駅前「めいすいくん」と職員で啓発チラシ等を配布
	乳幼児健診	月2回ある3歳児健診で、子供だけでなく、親世代に対して、啓発を実施
	イコット通信の発行	協議会活動の周知や推進委員・推進員の組織の連携を図るための機関紙を発行

▼ はたらくくるま大集合お面コーナー



泉 区

泉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上をめざして、様々な啓発活動に取り組んでいます。

今年度は初めて、明るい選挙推進のためのハンドブックをテキストに推進員の方々を対象に5月と11月に「泉区明るい選挙推進研修」を開催しました。11月には恒例の「泉区民ふれあいまつり」において啓発ブースを出店。展示パネルの内容に基づいたクイズなどで楽しみながら選挙について学んでいただきました。

12月は、子育て世代の若年層の投票率の向上等を目的として、親子向けの「わいわいファミリーコンサート」を開催しました。

出演はサロンオーケストラジャパン、そしてフェリス女学院大学音楽学部演奏学科声楽専攻の在学生で結成されたフェリス・フラウエンコーアがゲスト出演。初の地元大学とのコラボレーションを実現しました。当日は、大勢の来場者にクラシックとコーラスの魅力をお楽しみいただき、急な解散による衆議院議員総選挙の投票参加を呼びかけました。

せんきょフォーラムでは1～2月にかけて小学6年生を対象に「デザートせんきょ」を実施。小学校最後の給食デザートは何にするかを選挙公約に担任の先生が候補者になり選挙を体感してもらいます。6年生の良き思い出にと今年度は最多の15校が実施予定です。

その他、イベント等での啓発物品の配布、生徒会選挙等への投票器材の貸出などの啓発活動を実施しています。

▼ 泉区民ふれあいまつり



▲ 推進員研修

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年 5月14日	定例委員会	新役員の選任、25年度事業実績及び決算・会計監査報告、26年度事業計画及び予算案の承認。
5月24日	明るい選挙推進研修	39人参加
11月3日	泉区民ふれあいまつり	区民まつりにて啓発ブースを出店し、選挙クイズや輪投げなど大人から子どもまで楽しめるブースを運営。
11月8日	明るい選挙推進研修	19人参加
12月6日	わいわいファミリーコンサート	子育て世代の若年層と子ども向けのコンサートを開催。来場者に投票参加の呼びかけや明推協のPRを実施。
平成27年 1月	民主主義と選挙のクイズ「あと5年」	中学3年生を対象に、社会科副教材「あと5年」を基にしたクイズを区内の中学校に配布。回答する過程を通じて民主主義と選挙の基礎知識の普及を図る。通算24回目。
1月～2月	せんきょフォーラム「デザートせんきょ」	区内の小学6年生を対象に選挙のレクチャーと模擬投票による体験学習を併せた出前授業を実施。(15校で実施予定。)
通年	明推協だよりの発行(全5回)	推進委員及び推進員向けに事業の計画や活動報告等を掲載した機関紙を発行。
	投票器材の貸出	区内の中学校で行われる生徒会選挙等に際し、投票器材の貸出を実施。

▼ わいわいファミリーコンサート



瀬谷区

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と区民の投票参加の促進を目指して各種啓発活動を行っています。

常時啓発活動では、若年層向け啓発事業として、区内小中学校等を対象に生徒会選挙のために投票器材の貸出しを実施しています。

また啓発事業として、8月には「明るい選挙子ども映画会」を開催し、併せて選挙啓発DVDの鑑賞を行うことで、親子で選挙への関心を高める機会としました。10月～11月には、区内小学校において「デザート選挙」を開催し、自分達の食べたいデザートを投票で決めることにより、実体験を通じて選挙を体験してもらいました。

さらに、10月の「瀬谷フェスティバル」においては、明るい選挙推進協議会のブースを出店しました。選挙パネルを展示するとともに、選挙クイズを実施し、広く区民へ明るくきれいな選挙の推進及び投票参加について、啓発を行ないました。11月には、「推進員研修会」を開催し、政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行い、推進員の交流を図りました。

そして、選挙時啓発活動では、12月の衆議院議員総選挙の際に、三ツ境駅、瀬谷駅、商店街等を中心に街頭啓発「ザ・イコット」を実施し、啓発物品を配布しながら投票参加を呼びかけました。

▼ 子ども映画会



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成26年 8月	明るい選挙子ども映画会の開催	区内の幼児、児童とその保護者を対象に、映画と選挙啓発DVDの上映を行った。 上映:ディズニー映画「アナと雪の女王」 会場:瀬谷公会堂
10月	瀬谷フェスティバルへの参加	「瀬谷フェスティバル」に明推協ブースを出店し、選挙啓発活動を実施した。 会場:上瀬谷通信施設はらっぱ
10月～11月	せんぎょフォーラムの開催	区内小学校を訪問し、政治・選挙への関心を高めるためのデザート選挙を開催する。 3校で実施。
11月	推進員を対象とした研修会の実施	政治・選挙関連施設の見学と意見交換を行う研修会を実施し、選挙に関する理解を深め、推進員の交流を図った。
通年	投票器材の貸出し	選挙への理解を深めるため、区内小中学校等に投票箱や記載台等の貸出しを行っている。
通年	イコット通信の発行	推進委員・推進員の機関紙を発行。 発行回数:年3回

▼ ザ・イコット



▲ 推進員研修会

第15回投票参加状況調査結果（抜粋）

市内有権者 6,500人に政治や選挙に関する意識調査を実施

横浜市選挙管理委員会では、平成25年8月25日に執行された横浜市長選挙における「投票参加状況」や「政治意識」について調査を実施しました。その結果の一部をご紹介します。なお、調査結果については、本市選挙管理委員会ホームページに掲載しています。

- 1 調査方法及び抽出方法
郵送方式、選挙人名簿による無作為抽出
- 2 回収結果
2,749（有効回収率42.3%）
- 3 調査時期
平成25年11月19日～12月4日

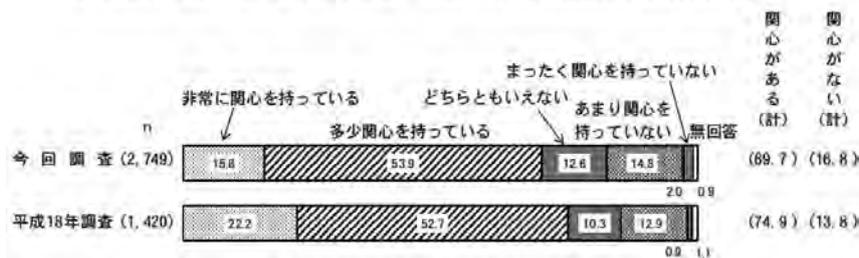
調査結果の主なポイント

●政治意識

市政へ「関心あり」と回答した人は、平成18年調査よりも5.2ポイント減少。

市政について関心があるかどうかを聞きました。その結果、「非常に関心を持っている」「多少関心を持っている」と回答した人を合わせると、69.7%と平成18年調査（74.9%）より5.2ポイント減少し、逆に関心を持っていない人は16.8%（同13.8%）と増加しています。

あなたは、横浜市政（横浜市の政治や行政）に、どの程度関心をお持ちですか。

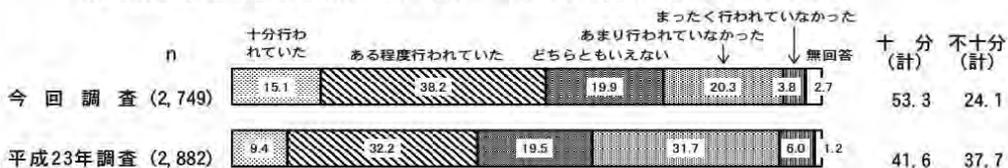


●期日前投票

期日前投票、不在者投票のPRについては、53.3%の人が「行われていた」と回答し、平成23年度調査より11.7ポイント増加

期日前投票、不在者投票のPRが十分に行われたか聞いたところ、「十分行われていた」「ある程度行われていた」と回答した人は53.3%と5割を超え、平成23年調査(41.6%)に比べて11.7ポイント増加しています。

期日前投票や不在者投票についてのPRは十分行われたと思いますか。



区役所以外の臨時期日前投票所の認知度は、60.6%の人が「知っていた」と回答し、平成23年度調査より17.5ポイント増加

期日前投票、不在者投票を知っていたと回答した人に、臨時の期日前投票所があることを知っていたか聞いたところ、「知っていた」と回答した人は60.6%と、平成23年調査(43.1%)に比べて17.5ポイント増加し、「知らなかった」と回答した人(39.1%)をはじめて上回りました。

期日前投票所は、各区に区役所の他に1か所、臨時の期日前投票所があることを知っていましたか。



横浜市 今年度の事業

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

事業名	内容	備考
研修事業	区明推協委員・推進員を対象とした明るい選挙推進研修会・推進大会の開催を通じて、推進員のスキルアップや明るい選挙と投票参加についての意識高揚を図りました。 1 リーダー研修会 平成26年10月1日 会場：ウィリング横浜 2 市・区推進大会 平成27年1月21日 会場：新都市ホール	1 リーダー研修会 講義・分散会討議・発表 2 市・区推進大会 決議文採択・記念講演・活動報告
将来の有権者及び若年層向け啓発事業	将来の有権者の意識啓発を図るため、小学校、中学校、高校の生徒会役員選挙や出前授業・特別授業の支援、若者啓発グループ等の若年層啓発事業を支援しています。また、選挙啓発効果が見込まれる若年層世代を対象とした他団体の事業へ後援しました。	1 生徒会選挙、出前授業等物品の作成 2 若年層啓発活動支援 3 高校生の投票事務従事の検討 4 横浜 JC「関心十筆」後援
(公財) 明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	(公財) 明るい選挙推進協会が主催する事業に参加します。また、区明推協の常時啓発でその内容において共催することが望ましい事業を共同で実施し、市民に明るい選挙の推進を訴えています。	1 (公財) 明るい選挙推進協議会連携事業 (1) 各種フォーラム 2 市・区明推協連携事業 (1) 区明推協活動助成等
明るい選挙推進のためのハンドブックの発行	明推協委員・推進員を対象に、地域での明るい選挙推進運動の活動に活用していただくことを目的に、活動に際し必要な事項を分かりやすくまとめた手引書を発行し、全推進員に配布しています。	発行部数 4,000冊
白バラよこはま (No.45) 発行	市及び区で実施する各種啓発事業紹介、寄附禁止等を掲載した機関誌を作成し、市・区明るい選挙推進大会等で関係者に配布しています。	発行部数 3,000部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考
選挙管理委員会単独事業		
若年層啓発事業	若者の間で普及しているツイッターを活用し、タイムリーで効果的な情報発信を行っています。定期発信のほか、選挙時等随時発信しています。	定期ツイート(発信日): 火・木曜日
新有権者ダイレクトメール(はたちブック)	新有権者にとって必要な選挙の知識、選挙のルール、市政に関する情報のほか、若者の生活様式や感覚に即した情報を掲載した冊子「はたちブック」を作成し、新有権者全員に郵送しました。	発送対象者: 約35,200人 発送時期: 12月初旬
成人の日を祝うつどい	「成人の日を祝うつどい」会場内のアストロビジョンでの呼びかけや会場内で横断幕を掲出するなどして、新有権者に選挙の重要性や投票総参加を訴えました。	開催日: 平成27年1月12日(月・祝) 会場: 横浜アリーナ 対象: 約35,200人
将来の有権者への啓発事業	教育委員会と連携し、市内中学校の3年生全員に、選挙や政治の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと5年」を配布し、学校教育の中で将来の有権者となる中学生に啓発を行っています。	中学校配送: 平成26年7月 市内中学3年生 約34,000人
選挙制度等の広報	選挙管理委員会ホームページを活用して、選挙制度の周知を進めています。特に、指定施設での不在者投票や郵便による不在者投票(在宅投票)について、関係団体との連携を図るなど、対象者への積極的な広報を実施しています。	実施: 通年
市明推協との共催・連携事業		
せんぎょフォーラム	将来の有権者向けに、「出前授業教材キット」等を活用し、学校と区・市選管、区明推協が協働し、受講者参加型の出前型授業・特別授業を実施しています。また、今年度から市立高校を対象とした選挙啓発「特別授業」を実施しています。	実施: 通年 会場: 各区学校等 高校特別授業: 市立高校 (2校・3回)
統一地方選挙「投票にイコット!キャンペーン」の実施	平成27年4月12日に執行される統一地方選挙に向け、26年10月から11月までを啓発キャンペーン期間として、近年低下傾向にある投票率向上のためのキャンペーンを日本赤十字社、横浜F・マリノス、区・市連携して、実施。11月30日の中央イベントでは、衆院選の啓発を実施。	区・市でのイベントで「共通のぼり旗」を掲出「共通物品」配布による投票啓発を実施
啓発パネル掲出	きれいな選挙と投票参加の呼びかけを図るため、啓発パネルを市営地下鉄の各駅に掲出しています。26年4月に新デザイン・サイズでのパネルに更新。衆議院選挙期間中は啓発ポスターを掲出し、投票日等を周知。	地下鉄改札口付近 30駅34枚(通年)
市明推協支援		
市区明推協関連	明るい選挙推進大会開催の後援・区明るい選挙推進研修会等開催の支援	
明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区の明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施する行事、イベント等の活動に対して補助を行うとともに、若者による横浜市選挙啓発団体(イコットプロジェクト)の啓発事業に対しても、引き続き支援しています。	

平成26年
12月14日執行

衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 啓発事業実績

平成26年12月14日、衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査が行われました。

市内公共機関・駅前・自治会町内会掲示板等にポスターや看板・横断幕などを掲出し、街頭啓発「ザ・イコット」等で積極的な投票参加と美しい選挙を呼びかけました。

今回の選挙は、小選挙区選出議員選挙が54.06%、比例代表選出議員選挙が54.05%、最高裁判所裁判官国民審査が53.11%の投票率でした。小選挙区選出議員選挙は、前回(平成24年12月16日執行)より6.44ポイント減となったものの、全国平均(52.66%)より1.40ポイント、神奈川県平均(53.88%)より0.18ポイント上回っています。



▲ 関内駅前大看板



▲ ポケットティッシュ



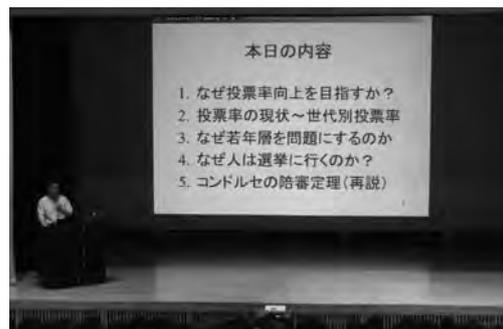
▲ 市庁舎横断幕

平成26年執行 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 啓発事業実績

実施項目		数量	内容	
看板・幕・ポスター類	看板・横断幕・懸垂幕	20枚	市・区庁舎に看板・横断幕・懸垂幕を設置	
	ポスターの掲出	約23,100枚	市営地下鉄各駅、自治会町内会掲示板、市・区庁舎等公共機関、郵便局等に掲出(県選管作成ポスターを活用)	
	公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,710箇所	選挙運動用ポスター掲示場を利用し、投票日、投票時間の案内を表示	
移動型広告	ゴミ収集車	約800台	巡回中に、投票日・期日前投票制度周知の啓発文を放送	
	公用車	約100台	公用車等を活用して、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送	
印刷物等	「投票のご案内」同封用啓発チラシ	約170万部	各世帯に発送	
放送等	市広報番組	随時	t v k「ハマナビ」(テレビ神奈川) FM Yokohama「ヨコハマ・マイチョイス！」	
	市・区庁舎等での啓発放送	随時	市・区庁舎などで投票参加の呼びかけ放送	
	電光掲示板	随時	区戸籍課窓口等の電光掲示板	
	文字放送	随時	t v kデータ放送横浜市情報で、広報を実施	
ホームページ	選挙案内ページの作成	随時	投票日や期日前投票を周知する特設ホームページを開設	
	ツイッターによる情報提供	随時	選管アカウントによる選挙関連情報の周知	
行事	啓発イベント	1箇所	すでに実施予定であった統一地方選挙の啓発イベントで、衆議院選挙の投票参加をも呼びかける。 会場：みなとみらいクイーンズサークル	
	街頭啓発「ザ・イコット」	18区	各区地域などを単位として数人のグループを編成し、区内の主要繁華街、駅頭などでの街頭啓発や、それぞれの場所を起点として場所を移動しながら投票参加を呼びかける。	
啓発物品・資材	ポケットティッシュ	約170,000個	各区街頭啓発等での投票参加の呼びかけに活用	
	ブラカード	約80本		
	既製の活用	卓上マスコット	約260個	区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口に設置
	イコットぬいぐるみ(着ぐるみ)	19体	市及び各区に1体	
イコットバンディング人形	22体	市及び各区に1～2体		



▲ 市営地下鉄駅啓発パネル



▲ 高校での選挙啓発特別授業(南高校)



▲ 統一地方選挙キャンペーンイベント(みなとみらい)

横浜市 明るい選挙推進リーダー研修会 開催

平成 26 年 10 月 1 日（水）、横浜市福祉保健交流センターウィング横浜（港南区上大岡）を会場に、「横浜市明るい選挙リーダー研修会」を行いました。

参加者は、各区の明推協推進委員・推進員 40 名。主催者である横浜市明るい選挙推進協議会会長の浅井正美会長の挨拶に続き、横浜市選挙管理委員会・木村久義委員長のご挨拶をいただきました。

その後、「投票率と投票質」というタイトルで、明治学院大学法学部教授 川上和久氏による基調講演が行われました。

講演では、明るい選挙推進運動の新しい役割や、平成 25 年執行の参議院議員選挙をはじめ、直近の選挙を含む投票率のデータをもとに、それぞれの選挙の争点や、メディアが及ぼす影響についてお話いただきました。



その後、各区選管書記も加わり 65 名が 7 グループに分かれ、昼食を挟んで約 1 時間 15 分、討議を行いました。

討議のテーマとして、

- (1) 統一地方選挙に向けた有効な選挙時啓発活動
 - (2) 他団体（各区民活動団体）との連携について
- の 2 点を話し合い、次のような意見が出ました。

(1) 統一地方選挙に向けた有効な選挙時啓発活動

- ・防災訓練やラジオ体操等、地域の人の集まる際などに啓発活動も一緒に行くと良いのではないか。
- ・期日前投票が簡単（あまり手間がかからない）であることについて、若い人を中心に PR していくと、仕事等で行けない人も行こうと思うのではないか。
- ・明推協だより（イコット通信）を、町内会の回覧板を使用して回覧し、興味を持ってもらう。
- ・街頭啓発は、駅頭だけでなく地域の商店街等の方が、普段駅を利用しない住人に対しても啓発効果が望める。
- ・病院や介護施設等で投票できる不在者投票をもっと施設側からも PR できると良い。
- ・インターネットを活用した啓発を増やす。
- ・街頭啓発の際に、着ぐるみも出ることで、こどもの目を惹きつけ、若い親世代への PR を行う。また、地域性があった場所・曜日・時間に行う。

(2) 他団体（各区民活動団体）との連携について

- ・青少年指導員やスポーツ推進員と協力をして、若年層向けに政治や選挙の研修会を行う。
- ・毎月、チラシやポスターを使って啓発活動をしてはどうか（回覧板や掲示板を有効活用する）。
- ・赤ちゃん教室での教育に絡めた啓発を行う。
- ・マンション等の管理組合と協力し、そのマンションから投票所までの経路を掲示板に掲示するなど。
- ・若者ボランティア団体なども多くある中、そのような団体と連携。若者に明推協に加入してもらえるとより良い。

グループ討議の後、各グループ代表者から話し合われた内容について発表していただきました。



横浜市明るい選挙推進リーダー研修会 アンケートより

リーダー研修会では、40 名の参加者に対してアンケート用紙を配布し、35 名から基調講演や分散会についての御意見をいただきました。ありがとうございました。

【基調講演の感想】

- ・マスコミの影響が大きいことに驚いた。
- ・選挙制度と投票率の関係について知りたい。
- ・大変良かった。次回も選挙分析や投票心理、報道の解析などの専門家を呼んでいただきたい。
- ・若年層への啓発教育の必要性を感じた。

【分散会について】

- ・区や町内会によって活動が様々で驚いた。
- ・少人数だったので、全員の意見を聞けて良かった。

【その他、気づいた点】

- ・前もって質問事項を提出できるとよい。
- ・他国の選挙や投票方法等に関する講義を聞いてみたい。
- ・大変よい講演、研修であったが、他の人にどのように伝えるか。

横浜市・区 明るい選挙推進大会 開催（平成25年度）

横浜市・区明るい選挙推進大会は、横浜市・区明るい選挙推進協議会関係者が一堂に会し、明るい選挙と投票への参加を広く市民運動として展開することを確認し合う機会として開催しています。

平成26年1月27日（月）、横浜関内ホール（中区住吉町）にて、「平成25年度横浜市・区明るい選挙推進大会」を行いました。

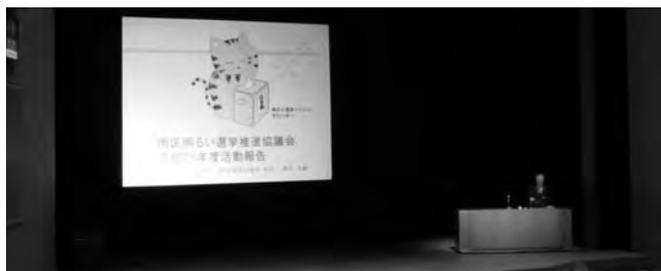
第一部の式典では、浅井会長の挨拶に続いて、来賓として横浜市の鈴木隆副市長、横浜市町内会連合会の佐々木副会長、横浜市選挙管理委員会の池谷委員長より祝辞をいただき、緑区明るい選挙推進協議会の町田会長による、決議文採択が行われました。



続いて第二部では、杏林大学外国語学部教授 金田一秀穂氏により「心地よい日本語」をテーマに記念講演が行われました。

外国語をはじめ語学が堪能である金田一教授が、ご自身の経験として外国で日本語を教えた際に、日本語の素晴らしさを身をもって再認識したことや、この文化を大切にすることの必要性をお話していただきました。

さらに、第三部では鶴見区・南区・港南区の明るい選挙推進協議会から、活動報告がありました。



このほか会場には、18区の明るい選挙推進協議会の啓発活動を紹介したパネルや、啓発物品が展示されました。



< 配布資料 >

白バラよこはま44号・記念品（ブックカバー）



< アンケートによる主な意見 >

【開催時期】

・「現状のまま」への賛同が多数でした。

【記念講演】

・金田氏はメディアで拝見するのと変わらず、おもしろかった。普段、何げなく使っている「言葉」について、自分の言葉は、自身を表現する術となること、それゆえ考える事が大切であり、言葉の大切さを再確認できた。

・記念講演後、退場する方も多く見られたのが残念だった。

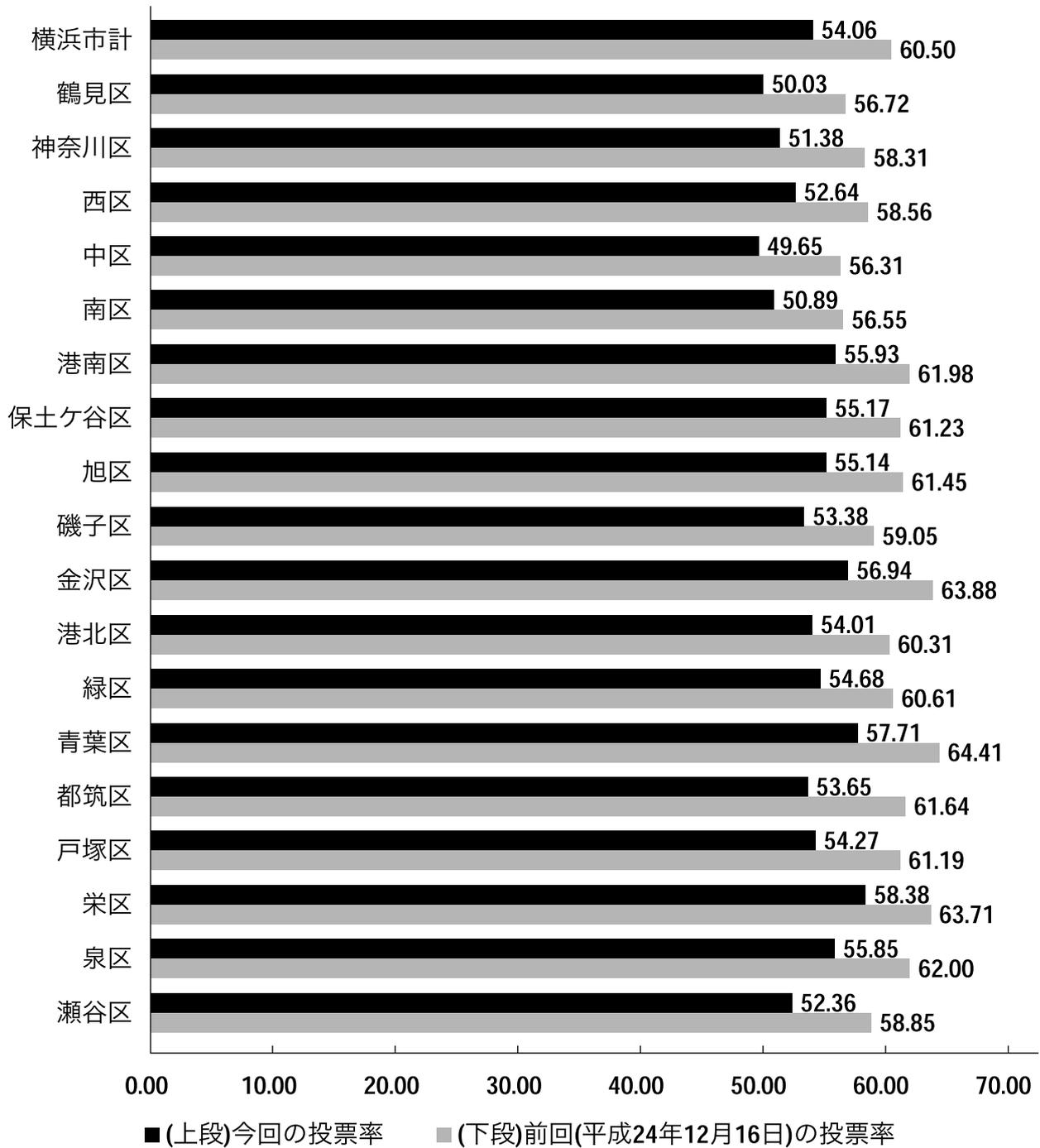
【活動報告】

・映像を使用した紹介で、それぞれ取組に工夫がみられ、参考になった。自分の地域でも実践していきたいと思う内容であった。

・投票率をアップするために、いろいろな努力をしていることがわかった。

第47回衆議院議員総選挙（小選挙区）

<行政区別投票率（%）>

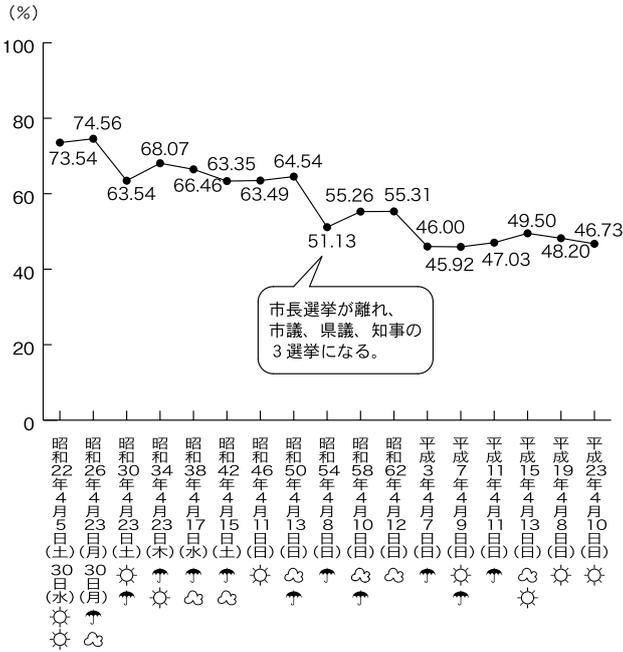


各選挙における投票率の推移

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も有権者の積極的な投票参加を推進していきましょう。

統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



注) 第一回統一地方選挙

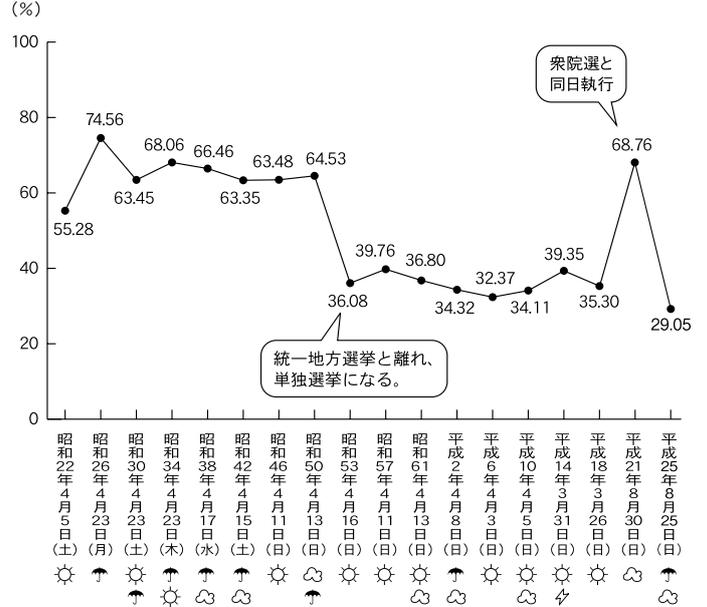
昭和22年4月5日 市長・県知事選挙
4月30日 市議会・県議会選挙

第二回統一地方選挙

昭和26年4月23日 市議会・市長選挙
4月30日 県議会・県知事選挙

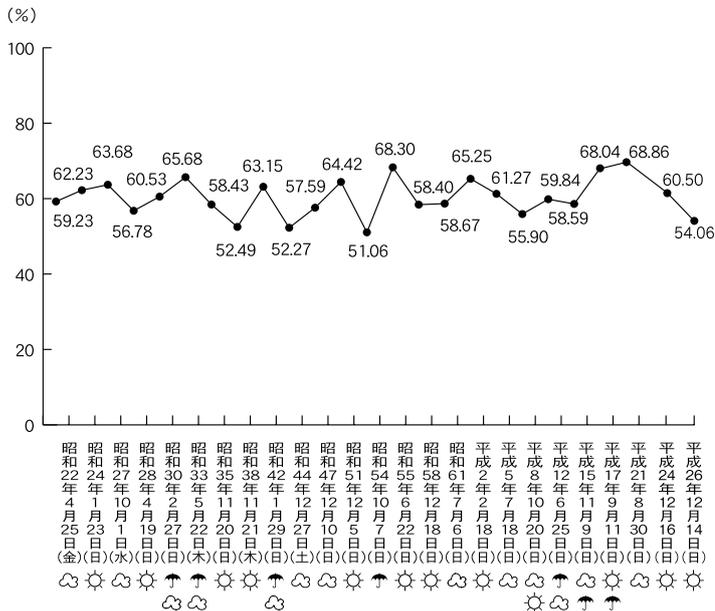
市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)



衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)

